

宮田村地域包括支援センターだより

平成30年12月発行

【編集・発行】宮田村地域包括支援センター(すこやか福祉センター内)

☎ 84-1255

◎地域包括支援センターの認知症事業への取り組みについてご紹介します。(その1)

◎認知症サポーター研修(認知症出前講座)◎

認知症サポーターとは、認知症になっても尊厳をもって安心して宮田村で暮らし続けることができるよう、認知症の学習の場として「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

村では役場の職員、大田切区の「あけぼの会」(高齢者クラブ)や、宮田小学校の4年生を対象に認知症サポーター研修を開催しました。

研修会では認知症により見られる特有の行動や、正しい接し方について学び、研修後に受講した方に認知症を支援する目印として、「オレンジリング」をお渡ししました。現在、宮田村には約940人の認知症サポーターがいらっしゃいます。

認知症サポーターとなって、認知症についてまず理解することが必要です。



❀宮田小学校4年生(左の写真)を対象に行われた認知症サポーター研修です。クイズや寸劇を交え、認知症を分かりやすく伝えました。❀

認知症サポーター研修はご家庭、地域、サークルや職場等で3人以上集まれば開催できます。

お気軽に地域包括支援センターにご相談ください。

裏面もご覧ください

認知症キャラバンメイトフォローアップ研修

認知症キャラバンメイトとは認知症サポーター養成講座の講師を担います。

村には現在55人の認知症キャラバンメイトが登録されています。

今年は5月21日・8月21日・11月13日に認知症キャラバンメイトを対象に認知症の知識を深めるために研修を開催しました。

竜東メンタルクリニック下島秀一師からは、「認知症について」をテーマに認知症のしくみや正しい接し方を学びました。

若年性認知症コーディネーターである伝田景光師(篠ノ井厚生病院)からは「若年性認知症」をテーマに若年性と高齢者の認知症との違い、若年性認知症コーディネーターの役割を講演していただきました。



毎回の講演後には認知症キャラバンメイトの皆さんで情報交換を行い、今後の活動について話し合っています。

村ではさまざまな認知症事業を実施しています。

認知症をはじめ介護などについてご相談の方はすこやか福祉センター内にある

地域包括支援センター(☎84-1255)へお問い合わせください。



◎次月号では「認知症講演会」、「ラン伴」、「若年性認知症の会」についてご紹介します◎